



(国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク)  
2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ  
「ロータリーは機会の扉を開く」  
(第2660地区ガバナー 簡 仁一)

WEEKLY BULLETIN  
**OSAKA  
NAMBA**  
大阪難波ロータリークラブ週報

4月 会員誕生日 おめでとうございます

- 4月 2日 東村賀文会員
- 4月 7日 西野文秀会員
- 4月11日 黒川友二会員
- 4月20日 網干康史会員
- 4月22日 石川益三会員
- 4月24日 中川博之会員

三姉妹 世界共同社会奉仕事業

6月に予定しておりました台北での三姉妹合同例会ですが、台中西南ロータリークラブから中止の連絡がございました。今回は三姉妹世界共同社会奉仕事業として台中市太平区頭汴国民小学校に大型タッチパネルテレビを2台寄贈致しました。それに伴い、当クラブからは\$1,000を台中西南ロータリークラブに送金させていただきました。 文責：松田禎胤

\*舉辦 W.C.S 捐贈儀式：時間：2021.1.28 / 地點：台中市太平區頭汴國民小學



\*W.C.S 服務計畫



今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
<p>4月1日(木) テーマ 母子の健康月間卓話 「コロナを乗り越える」 卓話者 徳谷 章子 様 卓話担当者 福田 忠会員</p>	<p>4月8日(木) テーマ 「セブ島アルガオの小学校訪問について」 卓話者 森田 納 会員</p>	<p>言行はこれに照らしてから</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 真実かどうか</li> <li>2. みんなに公平か</li> <li>3. 好意と友情を深めるか</li> <li>4. みんなのためになるかどうか</li> </ol>

川井宗次 会員



健康で幸せに過ごせるように頑張ってください。妻には本当に感謝しています。

毎朝9時から夜8時まで会社にいます。約十一時間も事務所にいますので、会社の事は殆ど把握しています。例えば、外線電話が長くと大体内容が分かります。社員が何かを抱えている時は、さりげなく声を掛けるようにしています。常に社員との関係は風通しが良くなるように心掛けています。先般、経理事務をしていた妻が自宅に入ると同時に次女が入社する事となり、これまで頑張ってきた事務員に対して、次女が働く経緯を代わりではない事を説明して、これからは会社で頑張ってもらいたい様に事前確認しました。また、ドライバーも深く付き合っています。先日自身の社員が入社したのですが、洗濯物まで妻と共に準備と手配をしました。物流業界の運転手は、会社の出入りが激しい業界ですが、私の会社では一旦他社に行つてから帰ってくる、いわば出戻りの社員が多く存在します。「愛情欲しい、金欲しい、の同時に欲しいは厚かましい」とよく言います。お金は働いたらついてきますので、まず愛情を優先したいと思っています。地域にも同じように考えています。昨年3月ごろの最もマスクが無かった頃に、偶然マスクが2万枚手に入ったので、従業員とその家

Rotary

Vol. 48 「テーマ 恩送り」

世代を紡ぐ インタビュー

族や、お世話になっている近所の診療所訪問医療の往診医さん、友人知人、孫も通う保育園に、マスクを無償配布させて頂きました。また、昨年の特別定額給付金10万円が政府より配布されて、余りにも喜んでる従業員を見て、みんなの父である私からも思いをこめて、個人的に全従業員に現金配布をしまして、非常時であるこんな時だからこそ助けたらと思いつきました。素直に感謝してくれる姿を見て、私が気持ちに余裕を買って、嬉しく思う事が出来ました。これは、私自身が若い時に周りの方々に優しくしてもらい面倒を見てもらった経験があるからです。いたいた恩をその方にお返しする事は出来ませんが、その「恩を今必要の方に送る」とは行いたいと思っています。来客の多い事務所を目指しています。良いことも悪いことも人を通して入ってくると思いが集まり易い様に環境整備をしたいと思います。チャラは常に「に」でもあつていて、それが「に」に乗るかどうかが大切だと思っています。「儲」の字の通り人を信じています。ちよんちよん騙されることもありますが、最後に家族についてですが、妻の存在が大きいです。会社では長年経理全般を任せてもらっていますが、従業員のように相談窓口にこなすことができません。私の知らないことも妻が知っていることが多々あります。そのうえで、客観的に冷静に意見を言ってくれることは有り難いです。家では、両親・子・孫(3歳)と四世代で暮らしています。妻が全の要になつてくれていて、みんなが健康で幸せに過ごせるように頑張ってください。妻には本当に感謝しています。

第27回例会 本日のプログラム

- 開会 (点鐘) 通算第2117回例会
- ・国歌 「君が代」
  - ・ロータリーソング 「奉仕の理想」
  - ・ソングリーダー 本間一成会員
  - ・来客紹介 友好委員

会食

- ・歌とピアノ 木下裕子
- ・会長報告 川口栄計会長
- ・幹事報告 福田 忠幹事
- ・委員会報告 各委員長
- ・出席報告 出席委員
- ・ニコニコ箱報告 SAA
- ・卓話

閉会 (点鐘)

♪ 奉仕の理想  
奉仕の理想に集いし友よ  
御国に捧げん我等の業  
望むは世界の久遠の平和  
めぐる歯車いや輝きて  
永遠に栄えよ 我等のロータリー  
ロータリー

ニコニコ箱報告	
前回の合計	¥50,000
本日までの累計	¥1,966,500 (65%達成)
3月末の予算額	¥2,990,000
出席報告	
前回 3月25日	3週前 3月4日
会員総数	58名
出席会員数	34名
出席率	66%

出席免除を除く MUを含む 修正出席率 65.38%

これからの予定

- 3月25日(木)～4月30日(金) 献血週間
- 4月8日(木) 例会
- 4月14日(水) 友好ゴルフ(万壽ゴルフクラブ)
- 4月15日(木) 例会
- 4月22日(木) 例会
- 4月29日(木・祝) 休会

大阪難波ロータリークラブ 例会日時 毎週木曜日 12:30  
創立 1976年8月5日 例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間  
会長：川口栄計 幹事：福田 忠 会報・雑誌委員長：三島敏宏 事務局：安部亜希子  
事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階  
TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

## 4月は「母子の健康月間」です

前回の記録 第26回 3月25日(木)

### ★来客紹介：三島友好委員

第2660地区ROTEX会長  
片渕 千尋 様



### ★会長報告：川口会長

1. こんにちは。3月25日例会の会長報告を行います。いよいよ春本番になりつつあります。昨日、加古川に桜の通り抜けの名所がありまして、わざわざ見に行きましたところ、まだ咲き初めにも至っておらず、ついでにさらに西の姫路城まで足を延ばしましたが、こちらも見頃には、ほど遠く残念でした。ただ平成の大改修後の姫路城は一度見たいと思っておりまして。青空の中、美しい白鷺城を見ることができ満足しました。4月14日のゴルフコンペで何とか例年1週遅れて咲く、万寿ゴルフクラブの桜が散らないように祈るばかりです。

2. さて本日の「ロータリアンの足跡」は、米山梅吉の続編であります。私たちはロータリアンとしての米山梅吉を知っておりますが、彼の社会奉仕事業に於いては、東京ロータリークラブの創立などは、ほんの一部でしかありません。大三井の常務として辣腕を振るったのち、三井信託株式会社を創立させ、初代社長に就任いたします。その後、財団法人三井報恩会の理事長に就任し、自らの著書「新隠居論」即ち、「一旦名を遂げた男子はすべからず後進に道を譲り、以後は社会の奉仕事業に貢献すべし」を実践していきます。三井報恩会は当時の金で3000万円を出資し、社会文化諸事業に貢献するという目的で設立されました。おそらく三井信託の社長を務めた梅吉にとってこれを運用し社会文化貢献の原資に充てる事は、彼でこそ可能であったと思われまふ。またこの奉仕理念を持つ米山梅吉に東京ロータリークラブ設立を持ち掛けた福島喜三次の眼力と行動力にも目を見張るものがあります。

現在、大河ドラマでは渋沢栄一を主人公にした「晴天を衝け」が放映をされております。この一世代前の話であります。三菱岩崎弥太郎をモチーフにすると三井や渋沢はライバルで官悪になりますが、三井報恩会の社会奉仕や渋沢栄一が生んだ数々の事業を知れば、自ずと理解できることでしょう。ただその時代の視聴者の嗜好において信長が好きか家康

が好きか同様、弥太郎が好きか渋沢栄一が好きかのようなものかも知れません。最後に米沢梅吉が取り組んだ社会奉仕事業についてお話ししますと、1 医療・福祉関係としてハンセン病、癌、結核等への助成。全国の全てのハンセン病療養所に17年を費やし訪問されています。映画「もののけ姫」のタタラ場に隔離された全身包帯で巻かれた老人や女性が出ておりましたが、当時、伝染する皮膚病とされ、風貌に顕著に症状が現れるため差別迫害を受け忌み嫌われた病です。2002年日本政府もハンセン病の隔離政策についてようやく謝罪しましたのは皆さんもご存じのことと思います。この米山梅吉の勇氣ある行動は今も語り継がれています。他、書ききれぬくらい多数ありますのでレポートをお読みください。2 農村振興事業、3 学術研究、実験助成、4 青山学院への奉仕、青山学院初等科の創立、5 立教大学への寄贈、6 郷里長泉村への寄贈等であります。これにて本日の会長報告を終わります。

### ★幹事報告：福田幹事

1. 来週4月1日例会終了後、定例理事会を開催しますので、理事役員の方はご出席下さい。
2. 中川博之会員、川口会長ご推薦の日高雅哉氏、坂本正樹氏の入会が決定いたしました。来週インフォメーションと入会式を行います。
3. 例会場変更のお知らせです。来週4月1日の例会は7F芙蓉で行います。
4. 第2660地区より伴井敬司会員に2021-22年度IM第4組ガバナー補佐エレクトの委嘱状が届いております。
5. ロータリー米山奨学会より、カウンセラーの福田会員に感謝状が届いております。

### ★委員会報告：ありません。

### ★ニコニコ箱報告：森副SAA

川口栄計：本日より献血DAYです。4/30までですので、よろしくお願いします。

福田 忠：3月は水と衛生月間です。ロータリークラブの初めての社会奉仕事業は1907年シカゴ市内への公衆トイレ設置でした。衛生設備、そして飲み水や生活用水の「安全」を原点に戻って考えたいと思います。

北橋茂登志：入会記念日、自祝。

大地庸元：早退お詫び。  
伴井敬司：久しぶりの例会参加です。楽しみです。

伊藤 仁：例会連続欠席お詫び。

清水一人：本日、片渕様、卓話よろしくお願ひします。

三島敏宏：片渕ROTEX会長、本日卓話よろしくお願ひします。週報にて（カタブチ）と誤記入して申し訳ございません。（カタブチ）と訂正させていただきます。

木下裕子：先週はロータリーソングでご迷惑をおかけしました。全て私の勘違いです！！申し訳ありませんでした。

★卓話 テーマ「青少年プログラムについて」  
卓話者 片渕千尋様  
卓話担当者 清水一人地区青少年交換委員

（清水会員）本日卓話をして頂く方を紹介する前に、私が今地区に出向している青少年交換委員会の活動と現状を話させていただきます。活動としましては2660地区のクラブの派遣学生と海外のクラブの派遣学生を交換する事業をしています。まず通常なら5月くらいから派遣候補生を募集して面接を通じて10月頃には派遣候補生を確定します。そのあと翌年の6月ぐらまで8回オリエンテーションし、交換準備をします。オリエンテーションではパワーポイントを使って英語での自己紹介やロータリーについてなどの研修を行い民間親善大使として海外のロータリークラブと交換を行います。また交換をして海外からの来日生が無事に過ごしているかホストクラブやホストファミリー、受入れ高等学校との懇親会で意見交換なども行います。そして来日生と派遣候補生などはいろいろなロータリー活動に参加し、研修旅行として白馬スキーや広島研修旅行なども企画した事もありました。現在の活動状況としましてはコロナウイルスの為交換事業は今期、次期は中止となり次々期交換に向けて今年の5月からクラブにポスティングを行いスタートする予定ですのでよろしくお願いします。また交換委員会ではホストクラブ、ホストファミリーを募集していますのでよろしくお願いします。

では今回卓話して頂く2660地区ROTEX(ローテックス)の委員長片渕千尋様を紹介いたします。2660地区ローテックスとはRotary、Exchange、studentの略で当地区より派遣された長期青少年交換学生及び当地区に移

住する他地区の元青少年交換学生で組織するもので青少年交換委員会に属しています。片渕様は2016～2017にアメリカニューヨーク州の7170地区に交換留学行い帰国後ローテックスに所属する現在大学生です。

（片渕千尋委員長）  
2660地区ローテックス会長をしております片渕千尋(かたふち ちひろ)と申します。本日は行き届かない点もあるかと存じますが宜しくお願ひします。本日お話しさせて頂く流れといたしましては、1 自己紹介 2 青少年交換プログラムについて 3 派遣先での生活 4 ROTEXについて 5 現状抱えている問題。以上5項目についてご案内させていただきます。

まず1つ目の自己紹介です。現在21歳で大学の商学部でマーケティングや経営学を学んでいます。スポーツが大好きなので大学のスポーツ広報部で新聞を作っています。2016-2017年度に7170地区(アメリカニューヨーク州)に派遣して頂きました。2つ目の青少年交換プログラムについてお話しさせていただきます。このプログラムはロータリークラブの支援のもと、15～19歳の高校生が海外に滞在し言語や文化を学びながら海外に友人を作り世界市民としての自覚を養うプログラムです。世界100カ国以上で実施されており、約10カ月の期間中はいくつかのホストファミリー宅を回って学校に通って生活をします。私は、2660地区の天王寺RCがスポンサーになって頂き、7170地区のハンター君とトレード留学をして頂きました。

3つ目の派遣先での生活をご紹介します。私が派遣されたニューヨーク州のクーパーズタウンは野球発祥の地として有名な所です。NYと言えばタイムズスクエアなどを想像されますが、実際は凄く田舎街で、中心部のNYシティまでは、車で約8時間かかる場所でした。現地では10か月間に3つのホストファミリーをまわりました。そのファミリーには、NYだけでなくニューメキシコ、フロリダなど様々な所に旅行に連れて行って頂きました。学校生活では、スポーツが大好きなので、水泳部、バスケット部、陸上部に入部し、陸上部ではダイエットもかねて長距離をしていました、学校行事としては、文化祭やダンスパーティーなどで親睦し文化を理解ができ、卒業式では卒業の掛け声と同時に四角い帽子を投げる、まるで映画のワンシーンの様なこともさせて頂きました。

当然、現地のロータリークラブの例会へも参加し、最後は留学期間の10カ月をまとめた約20分の英語の卓話をさせて頂きました。このプログラムを通じて四つの事を学びました。一つ目は全ての事は当たり前ではないことが身に沁みて感じる事です。これまで日本では家事一式は親がして当たり前でしたが、留学先では昼食や洗濯ものなど自分がして当たり前であり、改めて家族の有難みが身に沁みました。二つ目はロータリーの輪は凄い事です。ロータリーの留学制度で来たと自己紹介すると、アツという間に友人が出来き、ロータリー以外の留学生ともすぐに交友関係が広がりました。ロータリーの信頼感と影響力の凄さを感じました。三つ目は異文化に触れることでいろんな価値観を知ることが出来た事です。留学生同士が異国の地で生活することにより、喜怒哀楽を分かち合えて異文化を認めあえることができました。最後に四つ目は、ひとまわり以上成長できた事です。様々な事を経験し学ぶことが出来たことは本当に有難く思います。

4つ目はローテックスについてです。これは、青少年交換プログラムを終えたメンバーで構成されているグループです。いわばOB会のようなもので、現在15人の大学生を中心として活動しています。今まで自分が支えてもらったように、派遣学

生・派遣候補生・来日生のサポートを行なっています。貴重な派遣生活をよりよくするために、クリスマスパーティーや日本文化体験などを企画しています。また、派遣学生に対しては、派遣先の言葉が話せる ROTEX を一人一人つけて、精神面からのサポートもしています。しかし、今年度は新型コロナウイルスの影響で、交換が無くなってしまい ROTEX としての活動も大幅に減少してしまいました。そのため、広報活動に力を入れて、各ロータリークラブにて卓話をさせて頂いています。最後に5つ目は、現状抱えている問題です。ホストクラブ、スポンサークラブの減少とホストファミリーの減少という問題です。ホストクラブ・ホストファミリーをすることは確かに大変なことが多いが、1年間お世話してきて帰国する時の学生の成長っぷりを見ると、大変なことを上回る嬉しさや、やりがいがあると思います。以上の事をふまえて、私たち ROTEXの活動は、私たち自身が留学させて頂いたご恩を忘れずに恩送りをする為と海外と日本の架け橋となるような親善大使となるような留学生を生むお手伝いをするものと思って活動しております。今日の話で、少しでも青少年交換プログラムに興味を持っていただけると嬉しく思います。ご清聴ありがとうございました。

本日の卓話者

徳谷 章子 氏

(とくたに あきこ)



特定非営利活動法人ハートフレンド 代表理事 社会福祉士  
 大阪市社会福祉審議会専門委員  
 法務省人権擁護委員  
 大阪市女性活躍促進プロジェクト特別参与

1978 京都教育大学特修理学科卒業  
 1978 大阪府立松原市立第6中学校勤務  
 2001 大阪市いきいき放課後事業 嘱託指導員  
 2006 特定非営利活動法人ハートフレンド 設立



第2660地区より伴井敬司会員に2021-22年度 I M第4組ガバナー補佐エレクトの委嘱状が手渡されました。

米山奨学会より福田会員へカウンセラーの感謝状が手渡されました。